



相生高校HP

向日葵

～強く明るく前向きに～

「あと一步前に進もう！！」

学年主任 加藤 純治

2学期が始まり、あっという間に9月も終わり。そして先日は、体育大会が行われました。体育大会を通して、改めて感じたことがあります。それは、「真剣に一生懸命取り組む姿は、私たち教師にとっても大きな喜びであり、誇りであること。」「そんな皆さんの一生懸命に取り組んでいる姿は、周りに感動を与えることができる」ということです。短走種目やリレー種目、クラスで団結した大縄跳び、学年で団結した綱引きや学年演技「Here We Go!」、すべてが素敵でした。皆さんが「仲間のために頑張ることは、自分の喜びとして返ってくること」「全力で応援すること、応援されること」の大切さ感じてくれたら、今回の体育大会は大成功だと思っています。皆さんは体育大会どう感じましたか？

さて、2学期の今の自分、体育大会を終えた今、自分自身の成長した姿を感じられていますか？

皆さんの高校生活は、まだまだこれからです。「こんなもんでいいや」「もう十分頑張った」と思っていたりしませんか？そこでやめてしまうことはありませんか？もしそのような行動をとっている自分がいたら、少しだけ考えてみてください。今の自分が「もう十分だ」と感じているのは、実は高校生活においては、通過点。人生というものさしで例えるならば道半ば。本当に目指すべき目標は、そのもっとも先にあるはずです。

例えば、試験で目標点をクリアしたとします。それは素晴らしい成果です。けれど、あともう少し頑張っていたら、もっと高い点数が取れていたかもしれません。部活動の練習でヘトヘトになった時、「もう無理だ」と感じるかもしれません。けれど、そこであと一步を踏み出すことで、今までの自分とは違う自分に出会えるかもしれません。そして次の試合でさらに良い結果を出せるかもしれません。

もうすぐ中間考査もやってきます。「あと一步」「もう一つ」という、ほんの少しの努力。その積み重ねが、大きな成果、成長につながります。大切なのは、今の自分に満足するのではなく、「ここからさらにどうすれば良くなるか」を考え続けることではないでしょうか。

今日も自分自身に問いかけてみましょう。

「この問題、もう一度解き直してみようか？」

「今日の練習、もう一本だけ走ってみようか？」

「友だちともっと深く話しあってみようか？」

その「一步先」の行動が、新しい自分を発見する鍵となります。未来のあなたは、今、この瞬間の努力をきっと誇らしく思うはずです。

さあ、私たちと一緒に、もう一步先へ踏み出してみませんか。私たち49回生学年団は、いつでも皆さんの一生懸命を全力で応援しています。

～体育大会感想文～

「笑顔で踊った最高の学年演技」

5組 男子

初めての体育大会で、私は学年演技でダンスに挑みました。最初は少し緊張していましたが、3年生の先輩たちが明るく盛り上げてくれたおかげで、自然と笑顔になり、楽しく踊ることができました。音楽に合わせてみんなで息をそろえ、一体感のあるダンスができたときはとても嬉しかったです。先輩たちの応援に感謝しつつ、自分も来年は後輩たちを優しく応援できる先輩になりたいと思いました。忘れられない思い出になった体育大会となりました。



「獅子奮迅」

4組 女子



もともと予定していた日が雨で延期になり、今日の体育大会を本当に楽しめるのか、良い思い出となるのか最初は不安でした。でも体育大会を終えた今、とても楽しかったと感じています。私が1番良かったと思えたのは大縄跳びです。予行では0回という回数でした。その日の放課後もクラスのみんなで何回も練習して本番では20回という過去最高の回数を跳ぶことができました。1位にはなれなかったけれど過去最高の回数を跳べてすごく嬉しかったです。1年生の1回目の時に4組の20回が「暫定1位」と言われてクラスみんながすごく喜んでいて、みんなの勝ちたいという気持ちがすごく伝わってきたし良い雰囲気だなと思いました（すぐに記録は抜かれたけど）。2、3年生では優勝を目指して、もっと多く跳べるように頑張りたいです。クラスがより1つにまとまったと思えた体育大会でした。

「みんなの力」

3組 男子

私が今回の体育大会で一番心に残ったことは大縄跳びです。なぜかという放課後練習では30回にも届かず、予行演習でも全く跳べませんでした。本番当日、1回目9回、2回目はそれよりも少ない回数で優勝とは程遠い記録でした。しかし練習を思い出しながらみんなで声を出し跳ぶことで、なんと35回も跳ぶことができました。みんなの力が1つになり、一人ひとりが真剣に取り組んだからこそ35回という今までにない記録が出せたのだと思います。力を合わせる楽しさを感じることができ、凄く楽しかったです！



「最高の思い出」

2組 女子



体育大会はどの競技もすごく楽しかったです。特に大縄跳びでは放課後にクラスのみんなで練習し、目標回数を超えられた達成感はすごかったです。本番では40回を超えられなかったけど、今までで一番楽しかったです。

「Here we go!」はものすごく緊張しました。練習からタイミングがずれたりして本番でも完璧とは言えなかったところがあったけど、この学年のメンバーと一緒に演技できてよかったなと思いました。

また毎日放課後に残ったりして、描いてくれたクラス旗は凄すぎました！クラス旗を描いてくれた人や、みんなを引っ張ってくれた体育委員、先生方など多くの人ののおかげで楽しく、最高の思い出となった体育大会になりました！！

「バトン」

1組 男子

私は今回の体育大会で、「先輩の温かさ」が特に印象に残っています。私たち1年生の学年演技の時に、拍手や声援で盛り上げてくださって、とても嬉しかったです。それと、私の出場するクラス団対抗リレーの待機中、緊張でガッチガチになってた私に3年生の話したことのない先輩が、わざわざテントから出てきてくれて、声をかけてくれました。「そんなこと、普通できるかな」と思い、とても驚きました。でもその思いやりは先輩たちにはごく普通のことで、当然のことなのかなとも感じました。そんな優しさに触れることができた体育大会。来年は、自分たちが後輩にこのような優しさのバトンを繋いでいきたいなと思いました。



【体育大会表彰】

男子100m 第3位 1-4

男子4×200mリレー 第3位 1-5

生徒会種目 障害物リレー 第1位 1-5

大縄跳び 第2位 1-2

クラス旗 最優秀賞 1-5

